

鈴鹿山脈 竜ヶ岳(1099M)

2013年2月3日(日)

リーダー：磯部S メンバー：ふじ、磯部N、奥村

先週まで雪はたっぷりであったが数日前に頂上付近まで雨が降ったため、かなり融けてしまったようだ。しかし、日帰りでそこそこの雪山経験ができ、ハード行程ではないという、やっぱり鈴鹿山脈北部の山は魅力的だ。今回はさらにスノーシューで遊びたい、できればシリセードもしたい、そして雪の上でみそ煮込みうどんを食べたい！を楽しみに出かけた。

竜ヶ岳は近年従来の登山道が荒れたため新しい登山道が整備されつつある。しかも尾根コースのため、冬はより楽しめるようになった。特に遠足尾根は人気があるようだ。今回登りに使った金山尾根は今月末には道標も整備されるようだ。雪山初級者には天気の良い日にトライすれば危険度も小さく、お勧めの山域である。

宇賀溪駐車場に前夜テントを張って仮眠。といっても2時間ちよいで着いてしまうため恒例ミーティングもしっかり行い、かつ寝る時間もしっかり確保できる。朝、駐車料金500円を支払って出発。林道を終点まで歩いて小さなつり橋を渡り、登山道に入る。直に二つめの橋を渡って、支尾根を越えるように登っていくと金山尾根との分岐だ。



金山尾根取り付き なぜか×が。きつと近いうちに道標が設置されそう。



根性の奥村さんは、風邪で不調だったが完登した。

しばらくはちょっとした急登が続く。やっと雪が見え始めてく頃には落葉した木々の間から遠足尾根が見えてきて気持ちがいい。その尾根が近づいてく頃には雪景色となり、私とスノーシューを買ったばかりの奥村さんはさっそくスノーシューを装着。必要ないのだが、練習ということで使う。ちなみに今回わかんもアイゼンも出番無しだった。雪は雨でしっかり締まっていたのだ。

だだっぴろい遠足尾根に合流すると左手に目指す竜ヶ岳が見えた。もう高度差は少なく文字通り“遠足”気分だ。コルにトラバース気味に下って、最後の上りになると風がどどんきつくなる。地肌が露出して寂しい頂上では長居はできずすぐ下山。風が収まってきたところで一本取った。出会った登山者は30人前後だろうか。いかに人気がある山かわかる。



左が竜ヶ岳。昨年の山行報告と比べるとおもしろい。



悲しい頂上。装備に違和感が…。強風であった。

四日市や伊勢湾を望みながらゆったりと下り、いまやメインイベントになってしまった感のあるランチに突入。雪の上に持ち上げた4人用テントを張り、鍋にお湯とたくさんの具材、すきやのみそ煮込みうどんを入れ、

青い空と雪景色の中でゆったりとした時間を過ごした。
癒しの山行なら、そそくさと下界に戻るのではなく、この時間と空間を心ゆくまで満喫したいものである。
いや～自分でつくっていつものもんだけど、まいうー！



遠足尾根はゆったりゆるやか・・・。



重くてもテント内で作ったことが成功の秘訣（風がなくても長いと寒い）。

一カ所、青川方面への分岐点に注意して右手に折れ、宇賀溪へと下っていく。
道ははっきりしているのに、くどいほどの赤黄テープがついていて迷いようがない。
少ない雪が雨や気温で融けてじゅるじゅるになる箇所が常に有り、標高が低い雪山の特長か。
転ばないようにピッケルをだす（使い方が悲しい）。

夕暮れ前に駐車場に到着、ほとんどの車は消えていた。
そこから10分ほどで日帰り温泉“あじさいの湯”に立ち寄り（500円安！しかも節分でお豆一袋くれた！）、気分良く浜松に帰った。

<タイム> 宇賀溪駐車場(7:25)－金山尾根取り付き(8:10)－金山尾根と遠足尾根の合流点(11:35)－頂上(12:05)－遠足尾根途中のランチ地点(13:00-14:15)－宇賀溪駐車場(16:35)

以上 磯部S記